IPv6 Summit in TOKYO 2023
情報提供セッション報告1

「IPv6社会実装タスクフォース/IPv6普及・高度化推進協議会 アクセス網WG 報告」

2023年12月12日

IPv6社会実装推進タスクフォース　アクセス網WG

IPv6普及・高度化推進協議会　IPv4/IPv6共存WG　アクセス網IPv6サービス導入推進SWG

アクセス網WGとは

- IPv4アドレス枯渇対応TFの時代から活動（2010～2018）
- 上記WGが移行したIPv6社会実装推進TFのWGとして活動（2018～）
- IPv6普及・高度化推進協議会のIPv4/IPv6共存WG　アクセス網IPv6サービス導入推進SWGと共同開催

体制

- WGチェア/SWG部会長　江崎 浩　（TF代表　v6協議会専務理事/東京大学）
- WGチェア/SWG部会長　中村 修　（v6常務理事/慶應義塾大学）

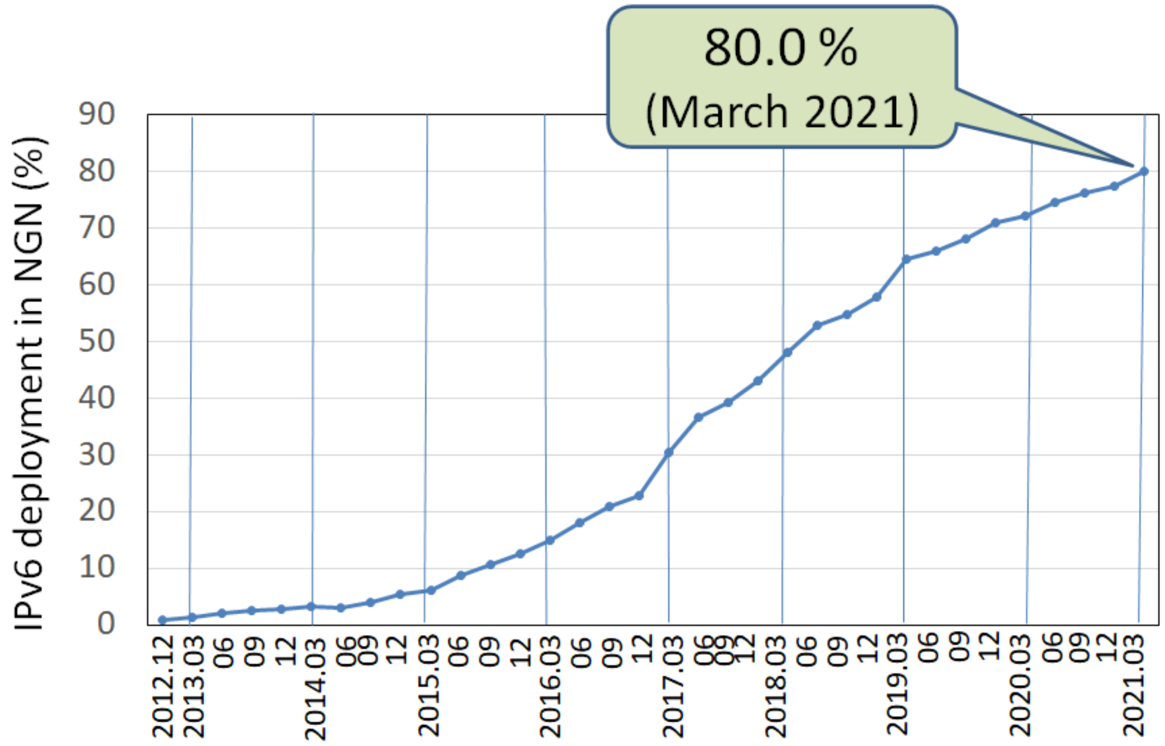
活動状況

- 当初は毎月1回、その後は隔月で会合を開催
- 2020年以降はオンラインでの会議に移行

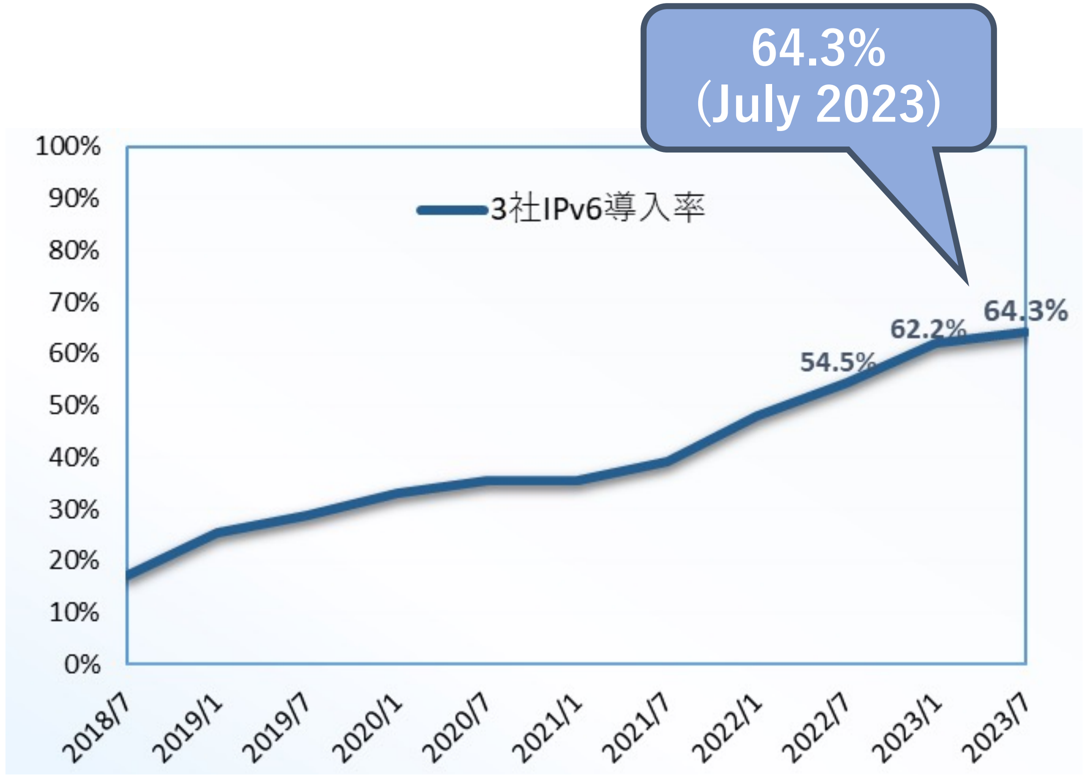
主な活動（過去）

- アクセス網におけるIPv6の普及状況調査(2012.12～)
  - フレッツ光ネクストのIPv6普及率は2021年3月に80%にまで達し、目標を達成して調査を終了（当初0.8%）
  - KDDI auひかりは2014.12に、CTCコミファ光は2019.09にComplete
- 日本におけるIPv6インターネット・アクセス網の提供方式についてのガイドライン等についての報告会を開催(2009年6月、2010年5月）
- 固定網の普及完了後は携帯網/CATV網のIPv6化の状況やアクセス網におけるIPv6普及の課題について情報を交換
- コンテンツ事業者／CDN/ 家庭内ネットワーク等国内外のIPv6化などの動きもウォッチ
- NGN PPPoE方式における HGW IPv6アダプタ機能の検討
- World IPv6 Day (2010, 2011)への対応　IPv4フォールバック問題対応

アクセス網におけるIPv6普及状況



フレッツ光ネクスト



主要携帯3社

ISPやサービス事業者などの関連事業者や団体を交え、課題の情報交換を実施

- 国内ISPの対応状況、PPPoE/IPoEにおけるIPv6対応・展開状況の共有
- キャリア、MVNOにおけるIPv6対応状況　IPv6 Mobile Launch
- 海外のISPやキャリアにおけるIPv6普及動向の情報共有
- 公衆無線LANのIPv6化
- 海外コンテンツのIPv6対応状況の共有
- 日本のコンテンツのIPv6対応状況の共有
- IPv6/IPv4フォールバック問題
- IPv6普及についての各種計測データの状況
- メジャーなプラットフォームにおけるIPv6ネイティブ対応の情報共有
- IPv4アドレス枯渇の影響

最近の話題

- 携帯網におけるIPv6対応状況
- 端末におけるIPv6 Singleスタックの状況
- IPv6地理情報DBの実験
- プラットフォームサービスにおけるIPv6普及状況(海外事業者、国内事業者、2022サッカーワールドカップ配信等)
- VNE事業者におけるIPv4/IPv6の比率の状況
- SOCにおけるIPv6を使った攻撃対処の問題
- コンテンツ・ゲーム業界におけるIPv 6 対応問題
- スマートホーム共通規格「Matter」とIPv6の関係の状況
- JAIPA ゲームエンタメネットワーク接続性課題検討WGとの連携、IPv6 UPnP実装・検証SWGの情報共有
- CATVネットワークにおけるIPv6デフォルト化の情報共有
- マンションインターネットにおける問題の共有（その後、一般社団法人 集合住宅デジタル高度化協議会の設立に発展）

コロナ以前のリアルでの会合

参加メンバー（過去に参加していたメンバーを含む）

- 株式会社朝日ネット
- アルテリア・ネットワークス株式会社
- 株式会社インターネットイニシアティブ
- インターネットマルチフィード株式会社
- 株式会社インテック
- Akamai Technologies, Inc.
- NECプラットフォームズ株式会社
- エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社
- KDDI株式会社
- JCOM株式会社
- 株式会社Jストリーム
- ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社
- ソフトバンク株式会社
- 西日本電信電話株式会社
- ニフティ株式会社
- 株式会社JPIX
- パナソニック株式会社
- BBIX株式会社
- 東日本電信電話株式会社
- ヤフー株式会社
- 【団体】一般財団法人インターネット協会 IPv6ディプロイメント委員会
- 【団体】日本UNIXユーザ会
- 【オブザーバー】総務省
- 【個人】辰巳 智

今後の展開

- IPv6社会実装タスクフォース/IPv6普及・高度化推進協議会 の Concludeに伴い、場所をJAIPAに移し「ネットワーク情報連絡会」としてIPv6を前提として、またIPレイヤのみには限定せず、アクセス網を中心とするインターネットの接続性問題を中心として情報共有の場として活動する予定。メインはオンラインでの活動
- 家庭用ルータのWGやCDNトラフィック問題のWGなどとも連携
- 参加者はJAIPA会員に限定せず、緩やかな情報共有を行う。
- 原則非公開　議事メモなどは残さず、ここで得た情報は発信元の許諾なくみだりに外部に公開しない紳士的ルールで運用
- 問題の解決にあたり情報や知恵を出し合う場として活用を期待